

# 近藤浩一路記念南部町立美術館

〔2023 夏休み自由研究プロジェクト〕



## ①どんな美術館なの？

南部町出身のすいぼく画家・近藤浩一路画伯の記念美術館になっています。たくさんの浩一路の絵画（すいぼく画）が所蔵されていて、県外からもたくさんの方がすいぼく画をみにきています。

## ②【近藤浩一路（こんどうこういちろ）ってどんな人？】

明治17年、南部町に生まれました。その後、静岡県にすみ、中学校を卒業すると東京の美術学校に入学し、よう画（油絵）の勉強をしました。大学を卒業すると新聞記者としてまん画もえがき、まん画家として有名になった時代もありましたが、じょじょに日本画（すいぼく画）へうつり代表作となった「鶺鴒六題」うかいろくだい（1923）の発表後は、すいぼく画家として作品をかす多く発表していきました。いつの時代もえがくことへの信念が強く、時代ごとに変化していく近藤浩一路のすいぼく画は多くの人々に愛され、今も大切に伝え続けています。

## ③「すいぼく画」ってどんな絵？

◇すいぼく画とは、（中国の王朝）に成立したとされる墨で表現される墨絵（すみえ）のかき方を言います。墨の線だけでなく、墨を面に使用し、ぼかしたり、こいところや、うすいところ、・明るいとこや暗いところを表現して風景などをえがきます。墨に五彩（ごさい）あり・・・とは中国の古き言葉。墨は黒一色ではないのですね。



近藤浩一路画伯

## ④【浩一路のすいぼく画のとくちょう】

浩一路の作品はいつも光と影が重要なやくわりをはたしています。洋画（油絵）で学んだことをすいぼく画の中に取り入れ自分だけの特色のある世界をつくりあげました。

浩一路の水墨画って写真みたいにみえませんか？

光（太陽の光）影（馬や木の影）\*右の絵のどの部分かわかるかな？



なるほど！



## ⑤【浩一路作品の中でよく使われているすいぼく画の技法について】

・もみがみ法

和紙を手でもんでシワを作り、描く時になでるように墨をのせていくと、へこんでいる部分は白くぬけるようにな

ります。とてもむずかしい技法です。風景画の中でよく使う技法なので美術館に来た時に作品をみてさがしてね！

アルカディア文化館 （2階が美術館です。）



## ◎近藤喜則（こんどうよしのり）史料室もあります！（近藤浩一路の祖父）

◇史料展示室では、喜則の駆け抜けた時代背景や、教育、産業、医療へ傾けた情熱などを紹介しています。



・再現模型 南部宿  
・フォトフレーム解説

南部町立美術館では、常設展（いつでも観ることができる近藤浩一路の作品紹介）と企画展（特別に観ることが出来るいろいろな作家の作品展）を開催しています！

夏休みはこの方の展覧会です。

夏休みは南部町立美術館に来てね！



## 岩合光昭写真展

Mitsuaki iwagou

ねこ🐱とけい

2023 7/15(土) ~ 8/27(日)

■開館時間：午前9時30分～午後5時まで

（ただし入館は午後4時30分まで）◇休館日（月曜日）

詳しいお問合せ先はこちらまで

☎0556-62-9292 （近藤浩一路記念南部町立美術館）

